The Clay Science Society of Japan

一般社団法人日本粘土学会 2022年度総会議案書

日 時:令和4年9月7日(水)11:30-12:30
場 所:島根大学 松江キャンパス 大学ホール
(島根県松江市西川津町1060)

総 会 次 第

開 会

総会の成立報告

会長挨拶

議長の選任

議事録署名人の指名

Ⅰ. 審議事項

第1号議案 2022年度事業報告

第2号議案 2022年度収支決算報告及び監査報告

第3号議案 2023年度事業計画

第4号議案 2023年度収支予算

第5号議案 2023・2024年度理事の選任

第6号議案 2023・2024年度会長の選任

第7号議案 2023・2024年度監事の選任

第8号議案 名誉会員の推薦

Ⅱ. 報告事項

1. 2022年度学会賞等の受賞者

2. 2022年度学術振興賞の受賞者

3. 第65回粘土科学討論会の開催状況

4. その他

閉 会

第1号議案　2022 年度事業報告

一般社団法人日本粘土学会　2022 年度事業報告書(案)
(2021 年 8 月 1 日～2022 年 7 月 31 日)

１．学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

2021年8月:第60巻2号を発行. 掲載内容:第64回粘土科学討論会のお知らせ(プログラム等), 日本粘土学会2021年度総会案内, 論文, 学会記事, その他

2021年8月:粘土科学ウェブサイトと誌上において著作物管理表示を更新した.

2021年9月:粘土科学ウェブサイトにおいて編集委員会編集委員リストを更新した.

2021年12月:第60巻3号を発行. 掲載内容:2021年度日本粘土学会学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀発表賞の選考結果報告, 2021年度学術振興賞の受賞報告, 2022年度日本粘土学会学会賞等(学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞)受賞候補者の募集, 2022年度日本粘土学会学術振興賞の募集, 2023・2024年度役員候補者の推薦公募, 第65回粘土科学討論会の予告, 粘土科学討論会報告, 研究グループ活動報告, 学会記事, その他

2022年3月:第61巻1号を発行. 掲載内容:第65回粘土科学討論会のお知らせ(講演申込み等), 解説, 学会記事, その他

本年度の論文受付数:1 編、受理数:0 編、審査中:0 編

(2) Clay Science

2021 年 9 月 15 日:2022 年度第 1 回 Clay Science 編集委員会(zoom)

2021 年 12 月 15 日:第 25 巻 3-4 号(合冊)公開。Paper 4 編、Retraction 1 編

2021 年の論文受付:13 編、受理 10 編、掲載 9 編(第 25 巻 1-2 号(合冊)4 編(うち次号で撤回 1 編)、第 25 巻 3-4 号(合冊)4 編)、受理後掲載前取り下げ 1 編、審査中 3 編

2022 年 6 月 21 日:第 26 巻 1-2 号(合冊)公開。Letter 1 編、Paper 2 編、Contribution 1 編

2022 年の論文受付(7 月 25 日現在):4 編(うち依頼総説 1 編)、受理 3 編

[投稿数増の方策]

現在の投稿状況では年 2 冊が精一杯である。

(1) シニア研究者、奨励賞受賞者への総説執筆を依頼する。→2 編依頼済み。

(2) 学会賞の推薦書類に Clay Science や粘土科学の掲載論文数を書く欄を設けた。

２．研究発表会・見学会等の開催

(1) 第 64 回粘土科学討論会(信州大学)の開催について

2021 年 8 月：26 日に会長，副会長，常務委員長，実行委員長の判断によりフルリモート形式での開催を決定。

2021 年 9 月：14～18 日（14・15 日：口頭発表，16～18 日：ポスター発表）にフルリモート形式で開催。講演数及び参加登録者、懇親会参加者は次のとおり。

1）講演数：シンポジウム講演 5 件、特別講演 1 件、一般講演 口頭発表 39 件、ポスター発表 21 件、合計 66 件。

2）参加登録者：会員（正，シニア，名誉，共催・協賛・後援学協会会員を含む）88 名、学生会員（共催学会学生会員を含む）：12 名，一般非会員：9 名，学生非会員：14 名、合計 123 名

2021 年 10 月：討論会の会計報告書および粘土科学に掲載する討論会報告書の提出。

2022 年 1 月：常務委員会及び理事会で第 64 回粘土科学討論会の開催・会計報告。

(2) 第 65 回粘土科学討論会(島根大学)の準備

2021 年 12 月　第 65 回粘土科学討論会の開催予告をホームページに掲載した。

第 65 回粘土科学討論会の開催について（予告）（1st サーキュラー）を粘土科学(第 60 巻，第 3 号，2021 年)に掲載した。

2022 年 4 月　第 65 回粘土科学討論会のお知らせ（1st サーキュラー）をホームページに掲載した。

第 65 回粘土科学討論会のお知らせ（2nd サーキュラー）を粘土科学(第 61 巻，第 1 号，2022 年)に掲載した。

発表件数（8 月 12 日現在）以下の通りである。

口頭発表件数（シンポジウム除く）：40 件（内訳、会員 20 件、学生会員 10 件、非会員 3 件、学生非

会員 7 件）
ポスター発表件数：38 件（内訳、会員 17 件、学生会員 6 件、非会員 4 件、学生非会員 11 件）
プログラムを作成し、粘土科学およびホームページに掲載した。

３．シンポジウム・セミナーの開催

(1) 第６４回粘土科学討論会でのシンポジウム開催

2021 年 9 月 14 日に「粘土科学における SDG s」として講演者 5 名で開催した。
粘土科学第 56 巻第 2・3 号掲載のための第 64 回粘土科学討論会シンポジウム報告を作成した。

(2) 第 65 回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備

2021 年 12 月：企画委員会にて第 65 回粘土科学討論会シンポジウム企画を「計算科学」で実施することを決定した。
2022 年 1 月：第 2 回常務委員会および理事会でシンポジウム講演方式をオンライン講演も含めたハイブリッド型で進めていく旨承認を得た。その条件で 5 名の講師への講演依頼を実施した。
2022 年 4 月：シンポジウムテーマを「粘土科学における最新の計算予測、現象理解の深化」で決定した。講師に準備状況の説明、要旨作成を依頼した。
2022 年 6 月：ハイブリット開催の技術打合せを実行委員会と行った。
2022 年 7 月：シンポジウムプログラム（時間割、講演タイトル）を作成し、実行委員会に提出した。

４．参考粘土試料

2022 年 7 月現在、日本粘土学会参考粘土試料として、カオリナイト(関白)、ディッカイト(勝光山)、パイロフィライト(勝光山)、モンモリロナイト(月布)、モンモリロナイト(三川)、合成サポナイト(クニミネ工業)、ハイドロバイオタイト(南アフリカ)の 7 種類を頒布している。
2021 年 8 月 1 日～2022 年 7 月 31 日までの頒布状況は以下の通りである。申込件数は計 18 件（昨年度は 26 件）で、その内、海外からの申込は 2 件（昨年度は 3 件）であった。

JCSS-1101c	カオリナイト(関白)	1300g	（申込：10 件）
JCSS-1301	ディッカイト(勝光山)	400g	（申込：4 件）
JCSS-2101	パイロフィライト(勝光山)	400g	（申込：4 件）
JCSS-3101b	モンモリロナイト(月布)	1200g	（申込：7 件）
JCSS-3102	モンモリロナイト(三川)	500g	（申込：5 件）
JCSS-3501	合成サポナイト(クニミネ工業)	1200g	（申込：7 件）
JCSS-5501	ハイドロバイオタイト(南アフリカ)	1000g	（申込：5 件）

5. 広報

主にホームページ・Twitter を通じた情報発信やQ&A 対応を行った。
2021 年8月:ホームページ(討論会、若手の会の案内、改訂した規程の掲載)
2021 年9月:ホームページ(粘土科学 Q&A 対応、討論会の案内、議事録、学会賞の掲載)
2021年 10 月:ホームページ(粘土科学 Q&A 対応、議事録の掲載)
2021年 12 月:ホームページ(改訂した内規の掲載、討論会のお知らせ、議事録、学会賞の募集要項の掲載)
2022 年1月:ホームページ(粘土科学 Q&A 対応、学会賞等公募、議事録、理事監事常務委員リスト)
2022 年2月:ホームページ(粘土科学 Q&A 対応、プライバシーポリシー)
2022 年4月:ホームページ(粘土科学 Q&A 対応、討論会の案内)
2022 年5月:バナー広告継続(クニミネ工業株式会社様、2022 年5月から1年間)
2022 年6月:ホームページ(議事録、討論会の案内、学会費のお知らせ、役員選挙のお知らせ)
2022 年7月:ホームページ(協賛、若手の会のお知らせ)
その他適宜: Twitter(Clay Science 最新号の案内等)、共催・協賛のお知らせ

６．渉外

AIPEA から Early Career Clay Scientists（学位取得後 5 年以内の若手)committee に本会からもメンバーを推薦するよう依頼があったため、若手の会から候補をあげてもらうことにした。井上紗綾子会員、延寿里美会員、齊藤寛治会員が候補としてあがってきたので推薦したところ、３人とも committee メンバー に選出された。12 月 3 日に初会合がオンラインで行われ、日本粘土学会を代表して上記３名が出席した。

2022 AIPEA Newsletter の原稿は 1 月 13 日に送付し、5 月 14 日に発行の連絡があった。2024 年に予定されているされている米国粘土学会と Asian Clay の合同会議に関する協議が 10 月 16 日にオンラインで開催され、本会からは佐藤常務委員長と川俣が出席した。その後、CMS の関係者が下見を重ねた結果、ワイキキでの実施は会議室のコストの面で難しく、ハワイ大学のキャンパスでの実施が検討されていると報告があった。次の協議は 8 月 16 日の予定。

7. 表彰

(1)学会賞等

令和 3 年 9 月 14 日開催の 2021 年度表彰式で、次のとおり学会賞等の受賞者が表彰された。

学会賞　蛯名武雄(国立研究開発法人　産業技術総合研究所　東北センター)
受賞題目「粘土を主成分とする機能性膜材料の開発・製品化・国際標準化に関する研究」

功績賞　井伊伸夫（国立研究法人　物質・材料研究機構）
受賞題目「層状複水酸化物に関する材料研究を通じた粘土科学発展への貢献」

奨励賞　吉田純（日本大学　文理学部　化学科）
受賞題目「放射能汚染の実態解明を目指したｾｼｳﾑの粘土鉱物への吸着・固定に関する研究」

技術賞　原子力発電環境整備機構 技術部
受賞題目「地層処分の安全性を確保するための技術開発とその包括的な取りまとめ」

論文賞　S. Aisawa, J. Sang, A. Masubuchi, H. Hirahara, and E. Narita
受賞論文:INTERCALATION BEHAVIOR OF VANILLIN AND RELATED COMPOUNDS INTO Mg-Al LAYERED DOUBLE HYDROXIDE BY CALCINATION-REHYDRATION REACTION IN AQUEOUS SOLUTIONS, Clay Science, 24, 47-54 (2020).

論文賞　三好陽子、鈴木正哉、宮腰久美子、高木哲一
受賞論文:スポット法により測定したベントナイトのメチレンブルー吸着量, :粘土科学 第 59 巻 第 2 号 33-45 (2020).

(2)学術振興賞

2021 年度日本粘土学会学術振興賞への応募はなく、入国制限措置や行動制限措置を課している国や地域が多い現状を踏まえ、本年度の学術振興賞は運用をしないことが報告された。

８．研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部（5 万円）の援助を実施した。

活動中の研究グループは「粘土鉱物を利用した革新的材料創製グループ」の 1 件である。

９．庶務

(1) 他学会等との連絡・協力

日本地球惑星科学連合（JpGU）関連事項

（学協会長会議：2022.5.30.（月）ZOOM, 小暮会長が出席、小口が傍聴）

3 月 7 日にウクライナ侵攻問題に関する声明を発出。

JpGU2022 大会が、ハイブリッド形式での口頭発表（5/22～27）と、オンラインポスターセッション（5/29～6/2）の日程で開催された。参加登録者は 3179 名、うち来場者数 3152 名。

ダイバーシティ推進に関して、代議員会や委員会における女性比率の数値目標を 30%（最低 20%）と設定し、ジェンダーバランスの改善を行った。

日本学術会議関連：「持続的発展のための国際基礎科学年」（2022 年 7 月～2023 年 6 月）に関連して日本学術会議に後援・協賛を依頼する場合は、窓口より申請を行ってほしい旨が報告された。

(2) 関連学協会との共催・協賛

期間中に下記の共催 1 件、協賛 8 件の依頼があった。

【共催】

第 65 回日本薄片研磨片技術討論会（2022/9/13）日本薄片研磨片技術研究会

【協賛】

第 57 回 X 線分析討論会（2021/11/5・11/6）（公社）　日本分析化学会 X 線分析研究懇談会

第 37 回ゼオライト研究発表会（2021/12/2～12/3）一般社団法人日本ゼオライト学会

熱測定オンライン講習会 2022（2022/6/17～9/16、５回実施）日本熱測定学会
第 11 回環境放射能除染研究発表会（2022/8/24～2022/8/25）一般社団法人環境放射能とその除染・中間貯蔵おおよび環境再生のための学会
第 58 回Ｘ線分析討論会（2022/11/10～2022/11/11）（公社）日本分析化学会 X 線分析研究懇談会
第 38 回ゼオライト研究発表会（2022/12/1～2022/12/2）一般社団法人日本ゼオライト学会
国際粉体工業展東京 2022（2022/12/7～2022/11/9）一般社団法人日本粉体工業技術協会
第 31 回光化学国際会議 (ICP2023)The 31st International Conference on Photochemistry（2023/7/23～2023/7/28）ICP2023 実行委員会

(3) 会員動向

会員種別	2019/9/10	2020/1/17	2020/9/15	2021/1/23	2021/9/14	2021/12/31	2022/8/13
名誉会員	18	17	14	14	12	14	14
シニア会員	10	10	14	13	15 (停止 1)	15 (停止 1)	15 (停止 1)
正会員	273	273	258 (停止 1)	258 (停止 1)	260 (停止 3)	259 (停止 3)	249 (停止 3)
学生会員	22	23	18	18	15 (停止 2)	15 (停止 2)	16 (停止 2)
賛助会員 1 級	7	7	7	7	7	7	7
賛助会員 2 級	7	7	7	7	7	7	6
賛助会員 3 級	13	13	13	13	12	12	12
会員数	350	350	331	331	328	329	319

(停止)：会費 2 年以上未納による会員資格停止者数、（候補）：会員資格停止候補者数

10. 常務委員会及び理事会

⑴ 常務委員会

2022 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催した。

9 月 15 日(水)第1回常務委員会
主な議題:2022 年度年間スケジュール、2022 年度常務委員の役割分担、粘土科学討論会について

1 月 22 日(水)第2回常務委員会
主な議題：2022 年度事業中間報告、2022 年度会計中間報告、役員選出投票の方法について、個人情報保護について、第 65 回粘土科学討論会について、第 66 回粘土科学討論会について、クレジットカード情報提出様式について、学会賞の推薦書類変更について、その他

7 月 23 日(土)第 3 回常務委員会
主な議題：2022 年度事業中間報告、2022 年度会計中間報告、2023 年度業務委託契約、2023 年度事業計画、2023 年度予算、2022 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2022 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、2023・2024 年度日本粘土学会役員選挙結果、2022 年度総会の開催日時と形式について、第 65 回粘土科学討論会について、その他

8 月 13 日(土)第 4 回常務委員会
主な議題：2022 年度事業報告、2022 年度収支決算報告及び監査報告、2023 年度事業計画、2023 年度収支予算、2022 年度総会の日時、場所、議案及びその内容、2022 年度総会の準備、進行等、2022 年度表彰式の進行、第 65 回粘土科学討論会について、 2023 年度以降の粘土科学討論会の開催形式について、その他

⑵ 理事会

9 月 14 日(火)第1回理事会
主な議題:2022 年度年間スケジュール、2022 年度常務委員の役割分担、各種委員会委員の選出、粘土科学討論会について

1 月 22 日(水)第2回理事会
主な議題：2022 年度事業中間報告、2022 年度会計中間報告、役員選出投票の方法について、個人情報保護について、第 65 回粘土科学討論会について、第 66 回粘土科学討論会について、クレジットカード情報提出様式について、学会賞の推薦書類変更について、その他

5 月 14 日(火)臨時理事会

主な議題:第 65 回粘土科学討論会における懇親会ならびに開催形式 について、名誉会員の推薦について、その他

7 月 23 日(土)第 3 回理事会

主な議題：2022 年度事業中間報告、2022 年度会計中間報告、2023 年度業務委託契約、2023 年度事業計画、2023 年度予算、2022 年度日本粘土学会学会賞等選考結果、2022 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果、2023・2024 年度日本粘土学会役員選挙結果、2022 年度総会の開催日時と形式について、第 65 回粘土科学討論会について、その他

8 月 13 日(土)第 4 回理事会

主な議題：2022 年度事業報告、2022 年度収支決算報告及び監査報告、2023 年度事業計画、2023 年度収支予算、2022 年度総会の日時、場所、議案及びその内容、2022 年度総会の準備、進行等、2022 年度表彰式の進行、第 65 回粘土科学討論会について、 2023 年度以降の粘土科学討論会の開催形式について、その他

第2号議案　2022年度収支決算報告及び監査報告

一般社団法人日本粘土学会　　2022年度会計決算報告書（7月）
（2021年8月1日～2022年7月31日）

1. 2022年度一般会計収支計算書
   (1) 参考：2022年度学会誌出版事業
   (2) 参考：学会誌在庫状況（資料としての保管分を除く）
   (3) 参考：2022年度参考粘土試料頒布事業

2. 2022年度学術振興積立金決算

3. 2022年度貸借対照表

4. 2022年度財産目録

1. 2022年度一般会計収支計算書

一般社団法人日本粘土学会 2022年度 一般会計決算報告書
(2021年8月1日～2022年7月31日)

(単位:円)

科　目	予算額 (2021.8.1～2022.7.31)	決算額 (2021.8.1～2022.7.31)	差 異	備 考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 会費収入	2,630,500	2,752,000	-121,500	
正会員会費収入	1,806,000	1,890,000	-84,000	当年度7,000円×258名(未納者8名) 過年度7,000円×12名
シニア会員会費収入	45,500	49,000	-3,500	当年度3,500円×14名(未納1名)
学生会員会費収入	49,000	63,000	-14,000	当年度3,500円×15名(未納者4名) 過年度3,500円×3名
賛助会員会費収入	730,000	750,000	-20,000	当年度40,000円×7社、30,000円×7社、 20,000円×13社
② 学会誌出版事業収入	935,280	857,820	77,460	
粘土科学誌収入	570,600	501,380	69,220	
粘土科学誌委託販売収入	17,600	66,880	-49,280	38冊 単価1,760円(下記定価×0.8)
粘土科学誌購読料収入	33,000	99,000	-66,000	45冊 単価2,200円
粘土科学誌掲載料・別刷収入	300,000	115,500	184,500	1件
粘土科学誌バックナンバー収入	0	0	0	
粘土科学誌広告収入	220,000	220,000	0	粘土科学 単発70,000円×1社、年間150,000円×1社
ClayScience誌収入	364,680	356,440	8,240	
ClayScience誌委託販売収入	66,880	42,240	24,640	24冊 単価1,760円(下記定価×0.8)
ClayScience誌購読料収入	97,800	61,200	36,600	6冊 単価2,200円、英文冊子体購読料3,000円×16名
ClayScience誌投稿料・別刷収入	200,000	253,000	-53,000	8件
ClayScience誌バックナンバー収入	0	0	0	
③ 一般事業収入	1,165,000	1,399,500	-234,500	
討論会収入	665,000	920,000	-255,000	第64回粘土科学討論会 (信州大学、オンライン開催)
参加料収入	665,000	893,000	-228,000	
見学会収入	0	0	0	
懇親会収入	0	0	0	
広告収入	0	20,000	-20,000	
寄附金収入	0	7,000	-7,000	1件
参考粘土試料頒布事業収入	400,000	379,500	20,500	17件
バナー広告収入	100,000	100,000	0	1件
④ その他収入	30,000	108,001	-78,001	
受取利息収入	0	58	-58	
雑収入	30,000	107,943	-77,943	著作権使用料(学術著作権協会)
事業活動収入計	4,760,780	5,117,321	-356,541	
2. 事業活動支出				
① 学会誌出版事業費支出	1,250,000	1,296,308	-46,308	
粘土科学誌刊行費支出	735,000	644,490	90,510	
印刷製本費支出	600,000	561,990	38,010	60巻2号(32頁460部)、60巻3号(28頁460部)、 61巻1号(18頁460部)
別刷印刷製本費支出	100,000	61,600	38,400	60巻2号、61巻1号カラーチャージ
J-STAGE登録費支出	35,000	20,900	14,100	60巻2号、61巻1号
ClayScience誌刊行費支出	395,000	525,272	-130,272	
印刷製本費支出	300,000	431,222	-131,222	CS25巻3・4合併号(28頁150部)、 26巻1・2合併号(38頁150部)
別刷印刷製本費支出	60,000	11,000	49,000	CS25巻3・4合併号、26巻1・2合併号
J-STAGE登録費支出	35,000	83,050	-48,050	CS25巻3・4合併号、26巻1・2合併号
発送費支出	120,000	126,546	-6,546	60巻2号、60巻3号・CS25巻3・4合併号、 61巻1号、CS26巻1・2合併号 4回分
② 一般事業費支出	1,423,200	852,557	570,643	
討論会開催費支出	665,000	272,360	392,640	第64回粘土科学討論会(信州大学、オンライン開催)
討論会運営費支出	665,000	272,360	392,640	Zoom費用、要旨集J-Stage費用、 討論会アルバイト代他
見学会費支出	0	0	0	
懇親会費支出	0	0	0	
ホームページ管理更新費支出	128,000	118,800	9,200	8-7月委託費
参考粘土試料頒布事業費支出	250,000	173,720	76,280	
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	120,000	115,626	4,374	AIPEA2021年度会費(EUR 887.25)
顕彰費支出	25,000	39,138	-14,138	賞状・賞状ホルダー
学術振興賞支出	150,000	93,448	56,552	
研究グループ活動資金支出	50,000	29,465	20,535	日本化学会 「低次元系光機能材料研究会」第10回サマーセミナー 研究G成果報告 講演謝金
会議費支出	25,200	0	25,200	
理事会支出	0	0	0	
常務委員会支出	0	0	0	
その他会議費支出	25,200	0	25,200	
③ 管理費支出	70,000	70,000	0	
租税公課支出	70,000	70,000	0	法人都民税
④ 事務費支出	1,635,077	1,631,299	3,778	
業務委託費支出	1,505,077	1,509,459	-4,382	8-7月委託費
旅費交通費支出	0	2,677	-2,677	2023・2024年度役員選挙 開票立会 交通費
通信運搬費支出	90,000	97,035	-7,035	サーバー料金、送料
事務消耗品費支出	20,000	8,463	11,537	8-7月コピー代
雑費支出	20,000	13,665	6,335	残高証明書、振込手数料等
事業活動支出計	4,378,277	3,850,164	528,113	
事業活動収支差額	382,503	1,267,157	-884,654	

（単位:円）

科　　目	予算額 (2021.8.1～2022.7.31)	決算額 (2021.8.1～2022.7.31)	差 異	備 考
II. 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
積立金受入収入	150,000	93,448	56,552	
投資活動収入計	150,000	93,448	56,552	
2.投資活動支出				
積立金預入支出	2,080,000	2,080,000	0	
投資活動支出計	2,080,000	2,080,000	0	
投資活動収支差額	−1,930,000	−1,986,552	56,552	
III. 財務活動収支の部				
1.財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2.財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	−1,547,497	−719,395	−828,102	
前期繰越収支差額	5,353,401	5,353,401	0	
次期繰越収支差額	3,805,904	4,634,006	−828,102	

(1) 参考: 2022年度学会誌出版事業

学会誌出版事業 2022年度 決算報告書
(2021年8月1日～2022年7月31日)

粘土科学誌 (単位:円)

収入の部	決算額 (2021.8.1～2022.7.31)	支出の部	決算額 (2021.8.1～2022.7.31)
委託販売収入	66,880	印刷製本費支出	561,990
購読料収入	99,000	別刷印刷製本費支出	61,600
掲載料・別刷収入	115,500	J-STAGE登録費支出	20,900
バックナンバー収入	0		
広告収入	220,000		
収入合計	501,380	支出合計	644,490
収入-支出	-143,110		

ClayScience誌 (単位:円)

収入の部	決算額 (2021.8.1～2022.7.31)	支出の部	決算額 (2021.8.1～2022.7.31)
委託販売収入	42,240	印刷製本費支出	431,222
購読料収入	61,200	別刷印刷製本費支出	11,000
掲載料・別刷収入	253,000	J-STAGE登録費支出	83,050
バックナンバー収入	0		
収入合計	356,440	支出合計	525,272
収入-支出	-168,832		

収支 (単位:円)

決算額	収入の部 (2021.8.1～2022.7.31)	支出の部 (2021.8.1～2022.7.31)	収支差額 (2021.8.1～2022.7.31)
粘土科学誌	501,380	644,490	-143,110
ClayScience誌	356,440	525,272	-168,832
発送費		126,546	-126,546
合計	857,820	1,296,308	-438,488

【直近の学会誌各巻号の委託販売・購読の収入の推移】

巻号	委託販売収入(円)	購読料収入(円)
粘土科学57巻	44,928	95,040
粘土科学58巻	50,144	69,360
粘土科学59巻	47,520	66,000
粘土科学60巻	44,000	72,600
粘土科学61巻	28,160	26,400
Clay Science22巻	139,968	51,840
Clay Science23巻	147,104	23,800
Clay Science24巻	66,880	8,800
Clay Science25巻	42,240	13,200

冊子体購読	購読料収入(円)
Clay Science 冊子体購読料 2019年度	111,000
Clay Science 冊子体購読料 2020年度	108,000
Clay Science 冊子体購読料 2021年度	90,000
Clay Science 冊子体購読料 2022年度	48,000

(2) 参考:学会誌在庫状況(資料としての保管分を除く)

2022年7月31日現在　　(単位:部)

粘土科学誌　巻号	在庫	Clay Science誌　巻号	在庫
55-1	10	21-1	10
55-2	10	21-2	10
55-3	10	22-1	10
56-1	10	22-2	10
56-2,3	10	22-3	10
57-1	10	22-4	10
57-2	10	23-1	10
57-3	10	23-2	10
58-1	10	23-3	10
58-2	10	23-4	10
58-3	10	24-1	10
59-1	10	24-2・3・4	10
59-2	10	25-1・2	10
59-3	10	25-3・4	10
60-1	10	26-1・2	10
60-2	10		
60-3	10		
61-1	10		

総計 330
(上記の学会誌は、外部倉庫にて保管)

※　販売、新入会員へ配布する分は、上記とは別に必要最小部数を取り置きしている。

(3) 参考: 2022年度参考粘土試料頒布事業

参考粘土試料 2022年度 決算報告書
(2021年8月1日～2022年7月31日)

(単位:円)

収入の部	決算額 (2021.8.1～2022.7.31)	支出の部	決算額 (2021.8.1～2022.7.31)
試料売り上げ(8件)	379,500	試料代金	149,600
		事務手数料	17,535
		振込手数料	6,585
収入合計	379,500	支出合計	173,720

収入-支出　205,780

※今期より支出元口座を三菱UFJ→ゆうちょ銀行(ネットバンキング)に変更
(銀行窓口閉鎖に伴う措置、収支計算書より事業収支を確認できるので問題なし)

2. 2022年度学術振興積立金決算

学術振興積立金 2022年度 決算報告書
(2021年8月1日～2022年7月31日)

(単位:円)

科　目	予算額 (2021.8.1～2022.7.31)	決算額 (2021.8.1～2022.7.31)	差 異	備 考
学術振興積立金 増加分				
前年度繰越金	574,732	574,732	0	
一般会計より	2,080,000	2,080,000	0	
受取利息	0	0	0	
学術振興積立金 減少分				
本年度引当金	150,000	93,448	56,552	
振込手数料	0	0	0	
次年度繰越金	2,504,732	2,561,284	-56,552	

3. 2022年度貸借対照表

一般社団法人日本粘土学会 2022年度 貸借対照表
(2022年7月31日現在)

(単位:円)

科　　目	期 末 (2022.7.31現在)	期 首 (2021.8.1現在)	増　減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
預 金	6,338,606	7,164,801	-826,195
未収金	87,900	140,600	-52,700
流動資産合計	6,426,506	7,305,401	-878,895
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)その他の固定資産			
特定資産			
学術振興積立金預金	2,561,284	574,732	1,986,552
その他の固定資産合計	2,561,284	574,732	1,986,552
固定資産合計	2,561,284	574,732	1,986,552
資産合計	8,987,790	7,880,133	1,107,657
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	13,000	44,000	-31,000
前受会費	1,779,500	1,908,000	-128,500
流動負債合計	1,792,500	1,952,000	-159,500
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,792,500	1,952,000	-159,500
III. 正味財産の部			
前期繰越正味財産	5,928,133	5,928,133	0
当期正味財産増減額	1,267,157	0	1,267,157
正味財産合計	7,195,290	5,928,133	1,267,157
負債及び正味財産合計	8,987,790	7,880,133	1,107,657

補足
・前受金、前受会費: 期首の金額については、期首時というより前期末残であり、期首においては実際は振替済となっている。

4. 2022年度財産目録

一般社団法人日本粘土学会 2022年度 財産目録
(2022年7月31日現在)

(単位：円)

科　　目	場所・物等	目的等	期 末 (2022.7.31現在)	期 首 (2021.8.1現在)	増　減
I. 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金			6,338,606	7,164,801	-826,195
郵便振替	ゆうちょ銀行	運転資金・年会費受入	724,855	959,216	-234,361
普通預金	みずほ銀行	運転資金	4,746,974	5,576,264	-829,290
	三菱UFJ銀行	運転資金	866,777	629,321	237,456
未収金 掲載料、参考粘土			87,900	140,600	-52,700
流動資産合計			6,426,506	7,305,401	-878,895
2. 固定資産					
その他の固定資産 特定資産					
普通預金	みずほ銀行	学術振興積立金	2,561,284	574,732	1,986,552
固定資産合計			2,561,284	574,732	1,986,552
資産合計			8,987,790	7,880,133	1,107,657
II. 負債の部					
1. 流動負債					
前受金			13,000	44,000	-31,000
	CS冊子体購読料		6,000	44,000	-38,000
	討論会参加費		7,000	0	7,000
前受会費			1,779,500	1,908,000	-128,500
	正会員		1,134,000	1,246,000	-112,000
	シニア会員		38,500	42,000	-3,500
	学生会員		7,000	0	
	賛助会員		600,000	620,000	-20,000
流動負債合計			1,792,500	1,952,000	-159,500
2.固定負債					
固定負債合計			0	0	0
負債合計			1,792,500	1,952,000	-159,500
正 味 財 産			7,195,290	5,928,133	1,267,157

2022年8月8日

監 事 監 査 報 告 書

一般社団法人日本粘土学会
会長　小暮　敏博　殿

一般社団法人日本粘土学会

監事　　志々目　正高　㊞

監事　　月村　　勝宏　㊞

私たち監事は、一般社団法人日本粘土学会の2021年8月1日から2022年7月31日までの2022年度の監査を実施しましたので、以下のとおり報告いたします。

1　監査の方法及びその内容

各監事は、一般社団法人日本粘土学会の常務委員会及び理事会等の会議に出席して理事及び使用人等から業務の執行状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

また、2022年8月8日に当該事業年度に係る事業報告書、計算書類（収支計算書、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書）及びその付属明細書等の調査を行いました。

2　監査の結果

(1) 常務委員及び理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(3) 計算書類及びその付属明細書等は、当法人の収支、財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

(4)単年度収入程度の正味財産期末残高を保有しており、財政上健全な会運営を行なっていると考えます。ただし、会費収入はこの５年間を見ると平均して毎年４.９万円ほど減少しており、このままでは将来の単年度収支が赤字になることが予測されます。このため学会収入増、経費の削減や学会活動の見直し等を検討し始める必要があると考えます。

以上

第3号議案　2023 年度事業計画

一般社団法人日本粘土学会　2023 年度事業計画書（案）
（2022 年 8 月 1 日～2023 年 7 月 31 日）

１．学術雑誌の編集と発行

(1) 粘土科学

学会誌「粘土科学」を下記の通り３回発行する．

2022年8月：第61巻2号を発行予定．掲載内容：第65回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等），日本粘土学会2022年度総会案内，論文，学会記事，その他

2022年12月：第61巻3号を発行予定．掲載内容：2022年度日本粘土学会学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞・論文賞・優秀発表賞の選考結果報告，2022年度学術振興賞の受賞報告，2023年度日本粘土学会学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者の募集，2023年度日本粘土学会学術振興賞の募集，第66回粘土科学討論会の予告，粘土科学討論会報告，研究グループ活動報告，論文，学会記事，その他

2023 年 3 月：第 62 巻 1 号を発行予定．掲載内容：第 66 回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込み等），論文，解説，学会記事，その他

(2) Clay Science

2022 年 9 月：2022 年度第 1 回 Clay Science 編集委員会

2022 年 9 月：海外 Advisory Editors の任期が更新になるので、候補者に依頼する（任期は 2024 年 9 月まで）。現在の Advisory 全員に再任依頼予定。（メンバー追加、交代などは先方の申し出によるもの以外は、2024 年の Asian Clay で内諾を取る方針）

英文学会誌「Clay Science」を下記の通り発行する

2022 年 9 月 Vol.26, No.3　発行予定

2022 年 12 月 Vol.26, No.4　発行予定

2023 年 3 月 Vol.27, No.1　発行予定

2023 年 6 月 Vol.27, No.2　発行予定

2022 年に奨励賞（総説を依頼）と学術振興基金賞（Clay Science へ投稿義務）が各 2 件予定されているので、2023 年度は実質的な発行号数を増やせることを期待する。

２．研究発表会・見学会等の開催

(1) 第 65 回粘土科学討論会(島根大学)の準備と開催について

2022 年 8 月　発表形式の確定と必要な機材の確認・準備。講演要旨集の作成。プログラムに掲載する広告の募集。参加者の名札および領収書類等の準備。など

2022 年 9 月　会場の設営。使用する機材（会場で必要な機器：プロジェクター、マイク、レーザーポインタ、ベル、ストップウオッチなど，リモートで必要な機器）の準備。会場で販売する学会誌等（粘土科学、Clay Science、討論会要旨集）のバックナンバーと領収書の準備。開会。

2022 年 10 月　討論会の会計処理と会計報告書の作成、粘土科学に掲載する討論会報告書の作成。

2023 年 1 月　常務委員会及び理事会で第 65 回粘土科学討論会の開催・会計報告。

(2) 第 66 回粘土科学討論会(仙台)の令和 5 年 9 月開催への準備

2022 年 12 月　討論会の開催予告をホームページに掲載する。

2023 年 1 月　討論会の開催計画を作成する。

2023 年 2 月　事務局から関連学会への共催・後援の依頼を行う

2023 年 3 月　第 66 回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込等）を粘土科学およびホームページに掲載する。

2023 年 6 月　講演申込の受付を行う。

2023 年 7 月　講演プログラム（案）を作成する。第 65 回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）を粘土科学に掲載する。講演要旨に掲載する企業広告の募集を行う。

３．シンポジウム・セミナーの開催

第66回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備

第 66 回粘土科学討論会でのシンポジウム・セミナーの企画及び実施に向けた準備を行う。シンポジウムテーマは理事会に諮って決定する。４～５名の講師を依頼し、開催時間は実行員会と相談の上決定する。シンポジウムの開催に向けて、以下の準備を行う。

2023年1月末シンポジウム概略を草案
2023年2月末スケジュール決定、講演者確定・依頼
2023年3月末粘土科学及びHP掲載の案内作成
2023年6月末講演者確定への連絡、予稿原稿の依頼
2023年7月中予稿原稿の収集・提出

４．参考試料

日本粘土学会参考粘土試料として、引き続き以下の 7 種類の粘土鉱物試料の頒布を行う。また、アロフェン含有イモゴライト(鹿沼)を参考粘土試料に加えて頒布を開始する予定。

JCSS-1101c カオリナイト(関白)
JCSS-1301　ディッカイト(勝光山)
JCSS-2101　パイロフィライト(勝光山)
JCSS-3101b モンモリロナイト(月布)
JCSS-3102　モンモリロナイト(三川)
JCSS-3501　合成サポナイト(クニミネ工業)
JCSS-5501　 ハイドロバイオタイト(南アフリカ)

５．広　報

学会ホームページの更新、粘土科学Q&Aに対する対応、バナー広告の掲載、ツイッターを利用した各種案内等の送信を行う。2023年度のホームページの主な更新内容の予定を以下に示す。

2022年8月：総会開催のお知らせ、2022年度第4回理事会及び常務委員会議事録の掲載。
2022年10月：2022年度総会議案書・総会議事録、2023年度第1回理事会及び常務委員会議事録の掲載。
2022年12月：第66回粘土科学討論会予告の掲載。
2023年1月：2023年度日本粘土学会学会賞等（学会賞・功績賞・奨励賞・技術賞）受賞候補者の募集、2023年度日本粘土学会学術振興賞の募集の掲載。
2023年2月：2023年度第2回理事会及び常務委員会議事録の掲載。
2023年3月：第66回粘土科学討論会のお知らせ（講演申込み予告等）の掲載。
2023年6～7月：第66回粘土科学討論会のお知らせ（プログラム等）、各種申込みフォーム、2023年度第3回理事会及び常務委員会議事録の掲載。

６．渉　外

AIPEA ニュースレターの作成及び送付、2024 年に予定している米国粘土学会と Asian Clay の合同会議に向けた協力等を行う。個人情報保護規定（仮）が制定された後、個人情報保護に関する外部からの問い合わせの窓口を担う。また、粘土に関する国際会議においてアジア粘土会議としてセッションを立てるなど、日本やアジアの粘土研究のアクティビティを外部に示すための活動を行う。

７．表　彰

(1) 学会賞等

2023 年度日本粘土学会賞等（学会賞、功績賞、奨励賞、技術賞）の受賞候補者の推薦を募集する。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。選考委員会において受賞候補者の選考を行う。また、粘土科学誌および Clay Science 誌に掲載された論文の中から論文賞受賞候補論文の選考を行う。各賞の受賞候補者数は、学会賞：１名以内、功績賞：若干名、奨励賞：２名以内、技術賞：２名(件)以内、論文賞：原則として２編とする。

(2) 学術振興賞

2023 年度学術振興賞の募集を行う。募集方法は粘土科学及びホームページへの募集記事の掲載と会員へのメール配信とする。応募者に対して選考委員会で受賞候補者の選考を行う。受賞者数は２名以内とする。

８．研究促進

粘土科学の研究を促進するため、研究グループの設立を認めて活動資金の一部を援助する。研究グループの活動期間は原則として３年とし、活動資金の援助は活動期間を通して１回限り５万円とする。

９．庶　務

(1) 他学会等との連絡・協力

公益社団法人日本地球惑星科学連合の団体会員として地球惑星科学系学会との連携を継続するとともに、日本学術会議の動向に関する情報収集を行う。

(2) 関連学協会との共催・協賛

粘土科学にかかわる各部門の学協会が開催する学会、講演会、展示会等の共催・協賛を行いつつ、連携と協力を進める

(3) 会員動向

会員動向の適切な把握に努めると共に、ホームページの会員マイページの利用を勧める。

１０．常務委員会及び理事会

(1) 常務委員会

2023 年度事業の業務を執行するため、下記のとおり常務委員会を開催する。

9 月 8 日（木）第１回常務委員会

主な議題：2023 年度常務委員の役割分担、2023 年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1 月 21 日（土）第２回常務委員会

主な議題：2023 年度事業中間報告、2023 年度会計中間報告、第 66 回粘土科学討論会について、その他

7 月 22 日（土）第３回常務委員会

主な議題：2023 年度事業中間報告、2023 年度会計中間報告、2024 年度事業計画、2024 年度予算、2023 年度学会賞等の選考結果、2023 年度学術振興賞選考結果、第 66 回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8 月 19 日（土）第４回常務委員会

主な議題：2023 年度事業報告、2023 年度会計決算及び監査報告、2023 年度総会議案書、第 66 回粘土科学討論会について、その他

(2) 理事会

2022 年度事業の業務執行を決定するため、下記のとおり理事会を開催する。

9 月 7 日（木）第１回理事会

主な議題：2023 年度常務委員構成、2023 年度委員会委員（学会賞等選考委員会委員、学術振興積立金運営委員会委員、他）の選出、2023 年度年間スケジュール、粘土科学討論会について

1 月 21 日（土）第２回理事会

主な議題：2023 年度事業中間報告、2023 年度会計中間報告、第 66 回粘土科学討論会について、その他

7 月 22 日（土）第３回理事会

主な議題：2023 年度事業中間報告、2023 年度会計中間報告、2024 年度事業計画、2024 年度予算、2023 年度学会賞等の選考結果、2023 年度学術振興賞選考結果、第 66 回粘土科学討論会プログラム及びシンポジウム、その他

8 月 19 日（土）第４回理事会

主な議題：2023 年度事業報告、2023 年度会計決算及び監査報告、2023 年度総会議案書、第 66 回粘土科学討論会について、その他

第4号議案　2023年度収支予算

一般社団法人日本粘土学会　2023年度一般会計収支予算案
（2022年8月1日～2023年7月31日）

（単位：円）

科　　目	2023年度 予算額 (2022.8.1～2023.7.31)	2022年度 予算額 (2021.8.1～2022.7.31)	差　異	備　考
I. 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①　会費収入	2,649,500	2,630,500	19,000	（参考：2022年7月末会員数（資格停止者除く））
正会員会費収入	1,841,000	1,806,000	35,000	7,000円×263名
シニア会員会費収入	49,000	45,500	3,500	3,500円×14名
学生会員会費収入	59,500	49,000	10,500	3,500円×17名
賛助会員会費収入	700,000	730,000	-30,000	40,000円×7社、30,000円×6社、20,000円×12社
②　学会誌出版事業収入	594,600	935,280	-340,680	
粘土科学誌収入	399,200	570,600	-171,400	
粘土科学誌委託販売収入	35,200	17,600	17,600	20冊　単価1,760円（下記×0.8）　2022年度：31冊
粘土科学誌購読料収入	44,000	33,000	11,000	20冊　単価2,200円　2022年度：36冊
粘土科学誌掲載料・別刷収入	100,000	300,000	-200,000	電子化により別刷り希望減少
粘土科学誌バックナンバー収入	0	0	0	2022年度：0冊
粘土科学誌広告収入	220,000	220,000	0	粘土科学　単発70,000円×1社 年間150,000円×1社
ClayScience誌収入	195,400	364,680	-169,280	
ClayScience誌委託販売収入	35,200	66,880	-31,680	20冊　単価1,760円（下記×0.8）　2022年度：24冊
ClayScience誌購読料収入	60,200	97,800	-37,600	2022年度：　6冊　単価2,200円、英文冊子体購読料3,000円×15名、2,000円×1名
ClayScience誌投稿料・別刷収入	100,000	200,000	-100,000	電子化により別刷り希望減少
ClayScience誌バックナンバー収入	0	0	0	2022年度：0冊
③　一般事業収入	1,142,000	1,165,000	-23,000	
討論会収入	742,000	665,000	77,000	会員7,000円×100名（全会員の2/5）、学生会員3,000円×14名の試算
参加料収入	742,000	665,000	77,000	第65回粘土科学討論会（島根大学）
見学会収入	0	0	0	第65回粘土科学討論会（島根大学）は、見学会
懇親会収入	0	0	0	なし、懇親会はコロナ状況次第
広告収入	0	0	0	
講演要旨集（大会時）収入	0	0	0	
参考粘土試料頒布事業収入	300,000	400,000	-100,000	2022年度：10件
バナー広告収入	100,000	100,000	0	1件
④ その他収入	100,000	30,000	70,000	
受取利息収入	0	0	0	
雑収入	100,000	30,000	70,000	著作権使用料(学術著作権協会)など
事業活動収入計	4,486,100	4,760,780	-274,680	
2. 事業活動支出				
①　学会誌出版事業費支出	1,380,000	1,250,000	130,000	
粘土科学誌刊行費支出	730,000	735,000	-5,000	
印刷製本費支出	600,000	600,000	0	61巻2号（460部）、61巻3号（460部）、62巻1号（460部）
別刷印刷製本費支出	80,000	100,000	-20,000	収入の8掛け相当と試算
J-STAGE登録費支出	50,000	35,000	15,000	
ClayScience誌刊行費支出	530,000	395,000	135,000	CS26巻（150部）
印刷製本費支出	400,000	300,000	100,000	
別刷印刷製本費支出	80,000	60,000	20,000	収入の8掛け相当と試算
J-STAGE登録費支出	50,000	35,000	15,000	
発送費支出	120,000	120,000	0	3回分相当
②　一般事業費支出	1,378,000	1,423,200	-45,200	
討論会開催費支出	445,000	665,000	-220,000	
討論会運営費支出	445,000	665,000	-220,000	収入の6掛け相当と試算
見学会費支出	0	0	0	第65回粘土科学討論会（島根大学）は、見学会
懇親会費支出	0	0	0	なし、懇親会はコロナ状況次第
ホームページ管理更新費支出	128,000	128,000	0	8-7月委託費
参考粘土試料頒布事業費支出	180,000	250,000	-70,000	収入の6掛け相当と試算
各種委員会等運営費支出	0	0	0	
学術交流費支出	10,000	10,000	0	地球惑星科学連合会費
国際交流費支出	120,000	120,000	0	AIPEA2021年度会費
顕彰費支出	25,000	25,000	0	賞状・賞状ホルダー
学術振興賞支出	150,000	150,000	0	
研究グループ活動資金支出	50,000	50,000	0	
会議費支出	270,000	25,200	244,800	
理事会支出	100,000	0	100,000	オンライン化、ただし一部対面の可能性も視野
常務委員会支出	100,000	0	100,000	同上、および交通費削減
その他会議費支出	70,000	25,200	44,800	ZOOM使用料（個人：2,100×12か月）+交通費
③　管理費支出	70,000	70,000	0	
租税公課支出	70,000	70,000	0	法人都民税、印紙税
④　事務費支出	1,655,707	1,635,077	20,630	
業務委託費支出	1,525,707	1,505,077	20,630	8-7月委託費
旅費交通費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	90,000	90,000	0	サーバー料金、送料
事務消耗品費支出	20,000	20,000	0	8-7月コピー代等
雑費支出	20,000	20,000	0	残高証明書、振込手数料等
事業活動支出計	4,483,707	4,378,277	105,430	

科　　目	2023年度 予算額 (2022.8.1～2023.7.31)	2022年度 予算額 (2021.8.1～2022.7.31)	差　異	備　考
事業活動収支差額	2,393	382,503	-380,110	
II. 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
積立金受入収入	150,000	150,000	0	
投資活動収入計	150,000	150,000	0	
2.投資活動支出				
積立金預入支出	150,000	2,080,000	-1,930,000	基金への積み立て。
投資活動支出計	150,000	2,080,000	-1,930,000	
投資活動収支差額	0	-1,930,000	1,930,000	
III. 財務活動収支の部				
1.財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2.財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	2,393	-1,547,497	1,549,890	
前期繰越収支差額*	3,805,904	5,353,401	-1,547,497	
次期繰越収支差額	3,808,297	3,805,904	2,393	

＊新年度は前年度予算の繰越額

第5号議案　2023･2024 年度理事の選任

令和4年 6 月 21 日に公示された 2023･2024 年度役員選挙により選出された理事候補者および会長により指名された理事候補者は以下のとおりです。下記の理事候補者29名を 2023･2024 年度日本粘土学会理事に選任することを提案します。

一般社団法人日本粘土学会 2023･2024 年度理事候補者(順不同･敬称略)

役　職	氏　名	分　野	所　属
理　事	會澤　純雄	2,3	岩手大学
理　事	井出　裕介	2,3	物質･材料研究機構
理　事	伊藤　健一	6	宮崎大学
理　事	伊藤　弘志	1	中間貯蔵･環境安全事業(株)
理　事	上原　元樹	2,5,6	鉄道総合技術研究所
理　事	梅村　泰史	3	防衛大学校
理　事	蛯名　武雄	2	産業技術総合研究所
理　事	大川　政志	3	沼津工業高等専門学校
理　事	大河原　正文	5	岩手大学
理　事	岡田　友彦	2	信州大学
理　事	河野　元治	1,4,6	鹿児島大学
理　事	川俣　純	3	山口大学
理　事	黒田　義之	2,3	横浜国立大学
理　事	桑原　義博	1,6	九州大学
理　事	敷中　一洋	2,3	産業技術総合研究所
理　事	地下　まゆみ	1,5	大阪大谷大学
理　事	鈴木　康孝	3	山口大学
理　事	田村　堅志	2,3,6	物質･材料研究機構
理　事	藤井　和子	2,3	物質･材料研究機構
理　事	牧野　知之	4	東北大学
理　事	皆瀬　慎	2	(株)ホージュン
理　事	宮元　展義	3	福岡工業大学
理　事	宮脇　律郎	1,2,3	国立科学博物館
理　事	三好　陽子	1	産業技術総合研究所
理　事	毛利　恵美子	3	九州工業大学
理　事	森下　智貴	5	(株)大林組
理　事	渡邊　雄二郎	2,3,6	法政大学
理　事○	鈴木　正哉	1,2	産業技術総合研究所
理　事○	日比野　俊行	2,3,6	産業技術総合研究所

分野:1:地球科学, 2:資源･材料, 3:化学･物理, 4:土壌･肥料･農林業, 5:建設･土木, 6:環境･新領域

理事の後に○印のあるのものは会長指名理事候補者。

以上、理事候補29名。

第6号議案　2023･2024 年度会長の選任

令和 4 年 6 月 21 日に公示された 2023･2024 年度役員選挙により選出された会長候補者は以下のとおりです。下記の会長候補者を 2023･2024 年度年度日本粘土学会会長に選任することを提案します。

一般社団法人日本粘土学会 2023･2024 年度年度会長候補者(敬称略)

役　職	氏　名	分　野	所　属
会　長	川俣　純	3	山口大学

分野:1:地球科学, 2:資源･材料, 3:化学･物理, 4:土壌･肥料･農林業, 5:建設･土木, 6:環境･新領域

第7号議案　2023･2024 年度監事の選任

令和 4 年 6 月21 日に公示された 2023･2024 年度役員選挙により選出された監事候補者は以下のとおりです。下記の監事候補者2名を 2023･2024 年度日本粘土学会監事に選任することを提案します。

一般社団法人日本粘土学会 2023･2024 年度監事候補者(順不同･敬称略)

役　職	氏　名	分　野	所　属
監　事	志々目 正高	3	前田工繊株式会社
監　事	高木 哲一	1	産業技術総合研究所

分野:1:地球科学, 2:資源･材料, 3:化学･物理, 4:土壌･肥料･農林業, 5:建設･土木, 6:環境･新領域

第 8 号議案　名誉会員の推薦

2022 年 5 月 10 日付で、井上厚行会員が日本粘土学会名誉会員に推薦されました。2022 年 5 月 14 日開催の 2022 年度臨時理事会で審議した結果、井上厚行会員を名誉会員とすることを提案します。

氏　名:　井上　厚行
満年齢:　71　歳

推薦理由:

井上厚行会員は、日本粘土学会会員として粘土科学の諸分野を長きにわたり先導され、我が国における粘土研究の発展にご尽力されました。特に、水－岩石相互作用における鉱物の生成と変化の機構解明を主要な研究テーマとされ、続成・熱水変質作用における粘土鉱物の変質に関して世界を先導する数多くのご業績を挙げられました。井上シニア会員の研究は、粘土鉱物学だけでなく地質学や応用地質学、石油工学等、様々な学問分野に貢献されてきました。また、昭和 61 年度には日本粘土学会賞を受賞されています。さらには、2005 年に東京で開催された International Clay Conference では Chair を務めらました。

本学会においては、評議員および常務委員として日本粘土学会の運営に長きに渡りご貢献され、平成 15 年度から 18 年度に常務委員長、平成 21、22 年度に副会長、平成 23 年度から 24 年度に学会長を務められました。学会長としては、一般社団法人化への橋渡しの時期に重要な役割を果たされました。

また、後進の育成にも熱心に取り組まれ、優れた人材を様々な粘土科学関連分野に送り出すとともに、現在は千葉市科学館の館長も務められております。

以上のように、井上厚行シニア会員は、粘土科学及び日本粘土学会の発展に長年にわたり大きく貢献され、名誉会員としての十分な資格をお持ちであると考えられますので、ここに強く推薦申し上げます。

Ⅱ. 報告事項

1. 2022 年度学会賞等の受賞者

(1) 学会賞　笹井 亮(島根大学大学院自然科学研究科)

受賞題目「層状複水酸化物の陰イオン交換特性の機構解明と機能材料化」

(2) 奨励賞　渡邊 保貴 (一般財団法人 電力中央研究所)

受賞題目「ベントナイトの鉱物学的変質と工学的性質に関する一連の研究と土木工学的応用への貢献」

奨励賞　早川 崇之 (株式会社ホージュン応用粘土科学研究所)

受賞題目「新規ベントナイト製品の開発」

(3) 技術賞　ソブエクレー株式会社

受賞題目「タルクの長年における産業利用や商品化及びジオポリマー用メタカオリンの製品化」

(4) 論文賞　Kenji Tamura, Hiroshi Yamashita, Toshihiro Kogure, Masatoshi Morita, Akihiko Yamagishi, Hisako Sato

受賞論文:REMOVAL OF CESIUM IONS FROM RADIOACTIVELY CONTAMINATED SOILS USING MICROWAVE TREATMENT. Clay Science, 25, 7-11 (2021).

論文賞　万福裕造・藤原英司・武田良彦・佐藤努・成田尚宣・鈴木正哉・西方美羽・山田裕久・万福和子・金田由衣・矢板毅

受賞論文:メカノケミカル法による汚染土壌からのセシウムイオン脱離挙動. 粘土科学第60巻第2号 11-20(2021)

2. 2022 年度学術振興賞の受賞者

原田拓海 (山口大学大学院 創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻)

受賞発表:Hybridization of organic compound onto optically manipulated clay surface

平出有吾 (東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域)

受賞発表:Adsorption and aggregation behavior of tetracationic porphyrins on clay and titania nanosheets

3. 第 65 回粘土科学討論会の開催状況(8 月 12 日現在)

第 65 回粘土科学討論会は、島根大学松江キャンパスで開催。

講演数、参加登録者数は次のとおり。

(1) 講演数

会長講演1件、シンポジウム講演 5件、 一般講演 口頭発表 40 件、 ポスター発表 38 件

合計 83 件

(2) 参加登録者

正会員(含シニア会員, 名誉会員)・共催学会員 88 名、

学生会員・共催学会学生会員 12 名、

非会員 9 名、 学生非会員 14 名、

合計 123 名

4. その他